

令和3年度 予算提案説明

次に、施政方針に基づきます令和3年度当初予算案について提案説明を申し上げます。

まず、一般会計予算についてでございます。

国におきましては、感染拡大防止と社会経済活動の両立を図るため、骨太方針2020に掲げられている主要な施策項目とそれを具体化する成長戦略の実行計画を踏まえ、ポストコロナの社会に向け、取り組んでいくことが求められています。

本市におきましても、こうした国の動向を踏まえ、令和3年度当初予算を編成いたしております。

まず、一般会計予算の総額は、500億600万円で、前年度比5億919万円、1.0%の減となっております。

次に、各種事業を賄う財源でございますが、特定財源は、国庫支出金、諸収入、市債などで、前年度よりも2.0%減の175億8,193万3千円を見込んでおり、特定財源の構成比は、前年度より0.3ポイント低い35.2%となっております。

また、地方債依存度につきましては、10.6%と、前年度の9.6%から1.0ポイント増加いたしております。これは、臨時財政対策債などが増加したことによるものでございます。

次に、年度末地方債現在高につきましては、561億1,703万4千円となり、前年度より、1億9,749万8千円、0.4%増加するものと見込んでおります。

次に、一般財源でございますが、市税につきましては、前年度比6億9,541万円、3.6%減の186億3,164万7千円を見込んでおります。

地方交付税につきましては、前年度よりも2億2,000万円、3.9%減の54億5,000万円を見込んでおります。

市税と地方交付税を合わせて、9億1,541万円の減となっておりますが、この減少額につきましては、臨時財政対策債の増加8億9,000万円で補填する形となっております。

繰入金につきましては、財政調整基金繰入金 6 億 8, 7 8 9 万 9 千円、減債基金繰入金 1 億円などを計上いたしております。

これらによりまして、一般財源総額は、前年度よりも 1 億 4, 3 3 0 万 2 千円、0.4%減の 3 2 4 億 2, 4 0 6 万 7 千円、構成比は 6 4. 8%となっております。

以上が一般会計予算の概要でございます。

次に、特別会計につきましては、渡海船事業、平尾墓園事業、国民健康保険事業、介護保険事業、後期高齢者医療事業及び工業用地造成事業の全 6 会計、また企業会計につきましては、水道事業、工業用水道事業、公共下水道事業の 3 会計につきましては、それぞれの事業に要します事業費、事務費について、特別会計で、2 8 6 億 8, 1 2 5 万 1 千円、企業会計で、1 1 5 億 9 8 8 万 8 千円を措置いたしております。

以上で令和 3 年度当初予算の説明を終わります。